

【令和5年度】

愛知県大府市農業委員会（女性農業委員の増加で会議が活性化）

【農業委員会の体制】（令和5年7月20日任期開始 新制度移行後3期目）
農業委員13名、農地利用最適化推進委員6名、事務局職員3名

1 地区の特徴・状況、課題

大府市は、大都市近郊という地の利を生かし、ぶどうなどの果樹を始め、たまねぎなどの露地野菜、水稲、畜産などが営まれている。しかしながら、少子高齢化や第2次、第3次産業への就職が多い社会情勢の中で、認定農業者数が伸び悩んでいる。このような状況下で、改選時の認定農業者等の過半数等の要件達成が課題となった。また、大府市では、市政運営の女性の参画拡大を進めており、女性登用の向上を図る必要があった。

2 課題解決に向けた活動（取組と工夫）

令和4年度当初に市長から農業委員会会長に対して女性農業委員・推進委員の積極的な登用の要請があった。農業委員会会長の発案により、市内6地区の代表者を構成員とした「大府市農業委員会委員等女性登用率向上検討会」を発足した。毎月の農業委員会総会後に検討会を開催し、候補となる女性農業者を情報収集し、候補者・関係機関への働き掛けやその進捗状況について情報共有しながら、女性委員の登用を進めた。

3 活動の成果

委員改選で女性農業委員が4名（2名増）、女性推進委員が2名（1名増）となり、市政運営の女性の参画拡大につながった。また、女性を委員に登用することによって、改選時の認定農業者等の過半数等の要件達成ができた。女性委員の増加により、女性目線からの意見が発言しやすい雰囲気となり、目標地図の素案作りに向けた地域の話合いや総会などの会議で議論が活発化した。



女性農業委員が地域の話合いに出席